

# 社会資本総合整備計画 事後評価書

平成 28 年 2 月

計画の名称	安全で利便性の高い港湾環境の形成				
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度 (5年間)	交付対象	石川県、七尾市、輪島市、能登町		
計画の目標	県内の港湾において、防波堤、岸壁、臨港道路等の整備、旅客船岸壁に隣接する緑地の整備などを一体的に実施し、安全で利便性の高い港湾環境を形成し地域産業の活性化を図る。				
計画の成果目標 (定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>港内の静穏度向上や物流機能効率化などの機能強化対策により、近年の取扱貨物量減少傾向に歯止めをかけ、10%以上の取扱貨物量増加へ転換を図る。</li> <li>地域産業の活性化・基盤強化を図るうえで、社会実験や調査・検討等の効果的なソフト施策の展開により、県内生産品の地元港湾の利用拡大を図る。</li> <li>近接する旅客船岸壁の活用とあわせて、賑わいと魅力ある親水空間としての港湾緑地の整備を行うことにより、旅客船利用者などの交流人口を30%拡大させる。</li> </ul>				
定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		備考		
	当初現況値 (H21年当初)	中間目標値 (H24年末)	最終目標値 (H26年末)		
① 県内港湾における取扱貨物量を調査する。 (取扱貨物量の増加率) = (評価時点の年間取扱貨物量 - H21当初の年間取扱貨物量) / (H21当初の年間取扱貨物量) (%)	2,985千トン	3,145千トン (5%増)	3,305千トン (11%増)		
② 県内生産品 (港湾取扱貨物で県内企業が荷主である輸出コンテナ) のうち、県内の港湾を利用する比率を調査する。 (県内生産品の地元港湾利用率) = (県内港湾を活用した県内企業の輸出货量) / (港湾を利用する県内企業の輸出货量) (%)	35%	43% (8%増)	49% (14%増)		
③ 県内港湾における旅客船乗降客数を調査する。 (旅客船の乗降客数の増加率) = (評価時点の年間乗降客数 - H21当初の年間乗降客数) / (H21当初の年間乗降客数) (%)	4,207人	5,500人 (30%増)	5,500人 (30%増)		
事後評価					
1. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>県内の港湾施設整備を実施し、船舶の安全な航行・停泊のための港内の静穏度の向上が図られたことで取扱貨物量が増えた。</li> <li>港湾物流調査を行い、ポートセールスを行うことで、県内港湾利用率は着実に伸びた。</li> <li>金沢港が日本海側拠点港「外航クルーズ (背後観光地クルーズ)」に指定されたことや、輪島港の旅客船岸壁が完成したことに伴い、旅客船の寄港隻数が増加し、乗降客数も増加した。</li> </ul>				
II 定量的指標の達成状況	指標① 県内港湾における取扱貨物量を調査する。	最終目標値	3,305 千トン	目標値と実績値に差が出た要因	・県内の港湾施設整備の促進により、目標値を達成した。
		最終実績値	3,706 千トン		
	指標② 県内生産品 (港湾取扱貨物で県内企業が荷主である輸出コンテナ) のうち、県内の港湾を利用する比率を調査する。	最終目標値	49%	目標値と実績値に差が出た要因	・金沢港における県内企業の輸出コンテナ取扱貨物量は大幅に増加したが、経済の活性化に伴い、全体の輸出货量も増加したため、目標値に及ばなかった。
		最終実績値	45%		
	指標③ 県内港湾における旅客船乗降客数を調査する。	最終目標値	5,500 人	目標値と実績値に差が出た要因	・金沢港の日本海側拠点港「外航クルーズ (背後観光地クルーズ)」選定や輪島港の旅客船岸壁の完成による効果などにより、目標値を達成した。
		最終実績値	26,604 人		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発言状況 (必要に応じて)					
2. 特記事項 (今後の方針等)					
・引き続きハード整備とソフト施策の両面から、安全で利便性の高い港湾環境の形成に努める。					

# 社会資本総合整備計画 事後評価書

平成 28 年 2 月

計画の名称	安全で利便性の高い港湾環境の形成(防災・安全)		
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度 (5年間)	交付対象	石川県、七尾市、輪島市、能登町
計画の目標			

県内の港湾において、防波堤、岸壁、臨港道路等の整備、旅客船岸壁に隣接する緑地の整備、老朽化した港湾施設の改良などを一体的に実施し、安全で利便性の高い港湾環境を形成し地域産業の活性化を図る。

## 計画の成果目標（定量的指標）

- 安全で利便性の高い港湾環境の形成による安定した港湾物流体系を将来にわたり堅持するため、既存施設に対する延命化や利便性向上等の施設改良を行う。
- 効率的かつ計画的な港湾の維持管理をおこなうべく、国有港湾施設を除く石川県管理港湾288施設および七尾市管理港湾11施設の維持管理計画を策定する。
- 震災時において緊急物資の保管場所・荷捌き地として機能するオープンスペースの確保を図るため、防災緑地の整備を行う。

## 定量的指標の定義及び算定式

	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値	中間目標値	最終目標値	
	(H21年当初)	(H24年末)	(H26年末)	
① 既存施設における延命化や利便性向上等を目的とした改良実施箇所数を調査する。 (改良達成率) = (評価時点における改良済み箇所数) / (既存施設における改良が必要な箇所数) (%)	11箇所 (23%)	14箇所 (29%)	29箇所 (60%)	
② 維持管理計画の策定施設数を調査する。 (計画策定率) = (評価時点における計画策定済み施設数) / (計画策定が必要な管理施設数) (%)	12施設 (4%)	299施設 (100%)	299施設 (100%)	
③ 県内港湾における震災時の利用される緑地整備面積を調査する。 (整備達成率) = (評価時点における整備面積) / (整備が必要な緑地面積) (%)	0ha (0%)	0ha (0%)	4.3ha (100%)	

## 事後評価

### 1. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

#### I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況

- 老朽化施設の補修に重点的に取り組み、延命化を図った。
- 全ての施設において、維持管理計画の策定が完了し、今後はこの維持管理計画を元に施設の改良を進める。
- 当初の計画通り4.3haの緑地の整備が完了し、緑地を含む輪島港マリンタウンの賑わいの創出につなげることができた。

#### II 定量的指標の達成状況

指標	最終目標値	最終実績値	目標値と実績値に差が出た要因	備考
指標④ 既存施設における延命化や利便性向上等を目的とした改良実施箇所数を調査する。	29 箇所	34 箇所	目標値と実績値に差が出た要因	・金沢港5箇所、七尾港6箇所を含む23箇所での改良が実施された。
指標⑤ 維持管理計画の策定施設数を調査する。	299 施設	299 施設	目標値と実績値に差が出た要因	
指標③ 県内港湾における旅客船乗降客数を調査する。	最終目標値	4.3 ha	目標値と実績値に差が出た要因	・計画通り、整備を完了した。
	最終実績値	4.3 ha		

#### III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発言状況 (必要に応じて)

### 2. 特記事項（今後の方針等）

- 引き続きハード整備とソフト施策の両面から、安全で利便性の高い港湾環境の形成に努める。